

郡上の循環型社会を目指して

長良川カンパニーで完熟堆肥プロジェクトを担当している岡野早登美です。郡上に移住して以来、この地の豊かな自然や生産者の方々から多くの恵みをいただく一方、気候変動が進む中で「無力な自分」や「消費者でしかない自分」に負荷感を覚えました。その一方で、生産者への憧れが募り、この土地や地球に貢献できることを模索していたとき「完熟堆肥」の技術に出会いました。生ごみを地域資源（米ぬか、もみ殻、落ち葉、壁土など）と混ぜ、高温発酵させて栄養価の高い堆肥を作るこの技術に感銘を受け、仲間と共にプロジェクトを立ち上げました。



二次処理作業の様子



社会をもっとよくするアイデアマガジン「IDEAS FOR GOOD」に取り上げていただきました

現在、市内の46世帯と7つの事業者がこのプロジェクトに参加しています。家庭や事業所から出る生ごみを乾燥させて堆肥舎に集め、地域の土壌を豊かに育む資源へと変えています。この取り組みは、かつて消費者だった私に、生産者の一部になったという喜びを与えてくれました。廃棄されるはずのものが堆肥として土壌を豊かにし、自然との調和を生む循環を実感するたび、感動を覚えます。また、堆肥の発酵過程で微生物の活動に触れると、小さな命が自然の中に息づいていることに気づかれます。さらに、地域の仲間との作業はリフレッシュの時間であり、活動を通して元気をもらっています。



資源循環教育の全体像

ご協力のもと畑で堆肥を使用する試みも行われました。さらに、石徹白地域では小学校の給食残棄も堆肥化し、とうもろこしの生育実験やNPO法人やすらぎの里いとしが管理する峠の花壇などに活用されています。各地で親身に対話してくださり、真摯に現場に向き合われる方々の熱意に触れるたび、尊敬の念とともに、郡上の未来に希望をもちます。

この循環の輪がここまで広がったのは、多くの方々の甲斐性と温かな支えがあったからです。「土壌を育み、川を守る」という信念を胸に、循環の輪をさらに広げ、行動を積み重ねていきたいと思っています。

問 info@nagaragawa.company

～輝く未来に向かって～ 郡上未来通信 (郡上市雇用対策協議会)

★なりたい自分（人物）になるために！ 2★

先月号で「なりたい自分（人物）になるために」、どうすればいいかお伝えしました。今月号では、なりたい自分になるためにお伝えしたことについて、詳しく説明します。

〈1. 理想の自分をイメージする〉

理想の自分をイメージする…

なかなか難しいですが、そんなに難しく考えなくても大丈夫！簡単なことから、どんな自分になりたいか想像してみましょう。

- 例えば、
- お金持ちになった自分
 - 社長になった自分
 - 推し活を楽しんでいる自分 などなど

ぼんやりとでも、理想の自分をイメージすることでなりたい自分への一歩につながります。

理想の自分をイメージしたら、次はどうすれば良いのでしょうか？

次回「2. 自分のことを理解する!?」お楽しみに☆

問 ハローワーク岐阜八幡 65-3108

